

3.6 基準値の設定・解析に関する具体的手法

エネルギースター基準値の設定・解析についての技術的、経済的手法等の具体的な情報は公開されていない。ただし、EPAの資料(Marla C. Sanchez, et al., “New Product Development: The Pipeline For Future ENERGY STAR® Growth”, ACEEE Summer Study on Energy Efficiency in Buildings, 2000) (Marla C. Sanchezほか, “新製品の開発－将来のエネルギースターの拡張の準備”, 米国エネルギー効率－経済評議会による建物のエネルギー効率に関する夏季研究, 2000年)によれば, 基準値の設定・解析における市場分析及び工学・設計解析について, 次の分析・解析項目が挙げられている(ただし, 各項目の具体的な内容や項目間の相互関係は示されておらず, 項目のみを列挙する)。

(1) 市場分析

- ・ 製品技術の内容と定義
- ・ 利用可能なエネルギー効率技術の選択
- ・ 関連する規制事項
- ・ 対象とする市場
- ・ 市場において障害となる事項
- ・ 製品の使用パターン及びエネルギー消費量
- ・ 産業界における市場製品の動向
- ・ 消費者等の省エネルギーに関する意識 等

(2) 工学・設計解析

- ・ 製品のエネルギー効率向上の潜在性
- ・ 製品におけるエネルギー効率向上のための設計技術の選択
- ・ 改良費用を抑制するための設計技術の選択
- ・ 製品の性能による環境への影響及び問題点
- ・ 適合製品を市場に導入するために必要な時間
- ・ 新しい技術の出現の可能性
- ・ 製品の使用モードの種類(稼動, 待機, 低電力モード等)
- ・ 製品試験の計画 等